

令和6年度

愛知県**通いの場**コンテスト

～応募団体の取組と講評～



# 愛知県通いの場コンテスト

【応募期間】 令和6年9月2日（月）～11月11日（月）

【応募団体数】 9団体

【募集テーマ】 通いの場が抱える課題を解決するための取組を以下のテーマの中から1つ選択して応募

取組テーマ	応募数
新たな参加者を増やす取組	2団体
参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組	3団体
男性が参加しやすい取組	1団体
通いの場の担い手（後継者等）不足の解消に資する取組	1団体
高齢者の生活課題の解決に向けた取組	2団体

## 【最優秀賞】

# ちょっといっぷくや（東浦町） 2018年5月～活動開始

## 活動概要

有志が月1回、老人憩の家において、コーヒーや茶菓子を提供しながら、塗り絵・抹茶・流しそうめん・藤江今昔（地区の今と昔を語り合う）・保育園児との交流など多種多様な催しを開催している

## 取組テーマ「継続的に参加しやすい取組」

- ▶ “誰もが役割を持ち、活躍できる場”をモットーにできることをできる人が役割分担する、参加者のやりたいことを聞いて形にするなど参加者と共につくりあげる場にする
- ▶ 塗り絵に次回の開催日を書いて、覚えとめるだけでなく新しい参加者のお誘いに使ってもらえるようにしている。誕生日の方をみんなでお祝い、自己紹介やプレゼントを贈呈

### 【ここにも注目！】

通いの場スタッフの声をきっかけに有志が集まり地域活動を行う「藤江プロジェクト」を結成、神事だんつく獅子舞の伝承にちなみ、自宅の軒先に「だんつくの灯り」を灯すというコロナ禍で地域の心をつなぐ取組に発展しています



保育園児との交流



塗り絵の風景



## 審査委員コメント

- ・お膳立てにしない、一緒になって楽しむなど参加者とスタッフが支え合い運営されている点が素晴らしい
- ・社協※担当者の声かけから区長や民生委員など有志が集まり通いの場を立ち上げた過程が大変素晴らしい
- ・できることをできる人が役割分担する運営は立ち上げの負担軽減、持続可能な運営として学ぶ点が多い
- ・高齢者がいるところに自然に多世代が集まるという昔からの家制度の地域版のようにも感じられました
- ・高齢者の安否確認や引きこもりの方の社会参加など多彩な効果を地域にもたらしている

※社会福祉協議会の略

【優秀賞】

# 高木西「くすの樹」サロン（扶桑町） 2013年7月～活動開始

## 活動概要

自治会を主体に月1回、公民館において、体操やレクレーションダンスといった定番メニューのほか異文化交流、繭人形づくりなど特長ある活動を実施している

## 取組テーマ「新たな参加者を増やす取組」

- ▶ 7月を「異文化交流の日」とし、フラダンス・朝鮮民族舞踊・ベトナムのバンブーダンス・モンゴル馬頭琴など日頃見たことのない文化と接する催しを開催している
- ▶ 時間のある方をターゲットに催しに関するキャッチフレーズを添えた個別の回覧を案内している

### 【ここにも注目！】

- ・ 3か月に一度開催されるサロン交流会の場を通じて、サロン間でゲストを紹介し合ったりとサロン運営者同士支え合うことで活動効果を高めています
- ・ 町内の視覚障がい者の方、点字ボランティアの協力のもと、町内初の試みとして点字の福祉実践教室を開催



フラダンスの風景



ベトナムのバンブーダンス

- ・ 異文化交流など多様な方とイベントを通して交流されているところがサロンの枠を超えて素晴らしい
- ・ 10年以上に渡って継続されてきたことが何よりも本活動の素晴らしい点である、未永く継続されることを期待したい
- ・ 点字の福祉実践教室、繭人形作り等福祉と創造を兼ねた新しい参加者に繋がる特長ある活動は素晴らしい
- ・ 地域に暮らす外国人と交流するなど移り変わる地域の景色を活動に上手く取り入れていると感じる
- ・ 町内サロンへの波及効果も大きく、先導的実績が大きく評価できる



審査委員コメント

【優秀賞】

# カフェ 東尾（安城市） 2019年11月～活動開始

## 活動概要

福祉委員会を主体に月2回、公民館において、コーヒー提供、ランチ会や町内住民による紙芝居・健康講話などの催しのほか、子育て世代も参加しやすい居場所づくりをしている

## 取組テーマ「新たな参加者を増やす取組」

- ▶参加費の代わりに使用できる「みんなのチケット」を発行し、福祉委員会主催の講座の出席者等に配布するなど新規の参加を促している
- ▶子育て世代のつながりでも来てもらうよう呼びかけ、高齢者と子どもと親の多世代が交流する場としている

### 【ここにも注目！】

- ・愛知県健康づくりリーダー有資格者や認知症サポーターも運営に関わり、認知症の心配がある方など地域包括支援センターと連携して参加者の見守りを行っています
- ・他にも、子どもの通いの場の提供や男性が参加しやすい囲碁将棋、健康麻雀を行うサロンも展開しています



ランチ会の風景



町内住民による紙芝居



乳幼児と親の居場所づくり



### 審査委員コメント

- ・多世代交流、会食、囲碁将棋、健康麻雀など多彩な取組に加えて「みんなのチケット」というユニークなアイデアで多くの参加者を得ており、他地域で活用できるアイデアが満載なサロンである
- ・高齢者サロンからスタートし、子どもの居場所・子育てママの交流など多世代交流の機能を有するよう発展しているところは注目すべき点、包括※や社協との有機的な連携ができているところもポイント
- ・町内の才能ある人材の参画を得て、各世代向けに多様なイベントを展開している点が素晴らしい
- ・チケットの活用から今後のデジタル社会に対応した工夫も見てみたくなりました

※地域包括支援センターの略

# ありがとうさんの会（一宮市） 2022年11月～活動開始

## 活動概要

ボランティアで月3回程度、公民館において、**笑いヨガや手遊び・認知症予防教室・盆踊りレクチャー**など多様な担い手による活動を実施している

## 取組テーマ「継続的に参加しやすい取組」

- ▶ アクティビティインストラクター、認知症看護認定看護師、作業療法士、盆踊りインストラクターなど**多様な担い手が趣向を凝らした催しを実施**している
- ▶ チームで行う運動など**対戦型にして、参加者が主体的に関わって楽しむことができるようにしている**

### 【ここにも注目！】

- ・開催時にはSNS等で情報発信をすることで、高齢者のみならず多世代の目に入るような働きかけをしています
- ・参加者に「特別な空間」として認識してもらい、会に出向く「ワクワク感」を感じてもらえるよう、会を進行するアクティビティインストラクターを「ファンキー博士」と銘打ち、一見「奇抜」な格好で活動しています



アクティビティインストラクター（ファンキー博士）による催し



チームで競い合う催し



## 審査委員コメント

- ・多世代を意識したSNS等での情報発信は素晴らしく、どこでも必要な取り組みになると考える
- ・ワクワク感のある非日常を醸し出した運営、チームで競い合うことで参加者の主体性を発揮させることで、参加者を得ている点が評価ポイント
- ・担い手側が楽しんでやっていることが継続する秘訣であると考え
- ・専門職の活用など担い手のサブキャリアとしての活動を受け入れている点も素晴らしい
- ・今後参加者がサロンの運営に関わる等、地域住民を巻き込んだ取り組みに発展することを期待したい

# 屋台みこって（春日井市） 2023年10月～活動開始

## 活動概要

コミュニティナース（看護師免許保有）が、**屋台という場所を固定化しない方法**で、町内を中心に市内で活動している。**コーヒーを提供しながら茶話会を行うなど、住民の身近な場所で社会参加の場を提供**している

## 取組テーマ「高齢者の生活課題(支え手側の課題)の解決に向けた取組」

- ▶ 地域でハーモニカが得意な方に演奏を披露してもらったりと地域の声を拾いながら、**住民の社会参加の機会と交流を作れるよう調整**している
- ▶ 民生委員や社協、福祉施設の依頼を受けて、屋台を出したり、講師になるなど地域の福祉機関等と連携して活動している

### 【ここにも注目！】

- ・ 住民が散歩やランニングなどに使用する遊歩道沿いで実施することで、町内会やコミュニティに加入していない住民の方とも自然な交流を生み出しています
- ・ 看護師を目指す学生などがボランティアで入ったりと、地域の担い手の育成の場としても機能しています
- ・ 資金面では、持続的に活動するために運営側の持ち出しをできる限りなくすよう、補助金や助成金を活用しています



屋台みこっての活動風景



### 審査委員コメント

- ・ 若い世代が働きながら地域に関わるモデルとして、様々な可能性を秘めた活動であると感じた
- ・ 屋台という新しい方法で地域との関わりを模索する先駆的な取組として、他の地域にも横展開が期待される素晴らしい取組である
- ・ 専門職のサブキャリアとして素晴らしい、他の地域事業との連携を持っていることにも感銘を受けました
- ・ 専門職が地域貢献の形で通いの場を立ち上げ、住民同士の自然な交流を生んでいる点が評価できる
- ・ 住民の生活動線に入り込み屋台形式の気軽さで新たな人とのつながりを創出する場に挑戦されている

# 健康麻雀和気あいあい（西尾市） 2024年4月～活動開始

## 活動概要

ボランティアで月2回、公民館において、健康麻雀を開催し、高齢者の交流促進に取り組んでいる

## 取組テーマ「男性が参加しやすい取組」

- ▶ 男性に関心の高い健康麻雀を軸にして、男性経験者が初心者を指導する役割のある場を生み出している
- ▶ 麻雀後にドリンクタイムを行うことで参加者の交流を促している
- ▶ 卓ごとに「トップ賞」を決めて粗品を出すことで、やる気を引き出している

### 【ここにも注目！】

- ・現在の公民館の前は、男性が生活の中で利用する地域の喫茶店で開催することで参加者の確保につなげています
- ・参加者には名札をつけてもらい名前呼び合う、健康麻雀前には体操を行うといった交流促進、健康づくりにも積極的に取り組んでいます
- ・資金面では市の通いの場運営委託金を活用して必要な備品を購入するなど立ち上げの負担を軽減しています



健康麻雀の風景



ドリンクやお菓子



### 審査委員コメント

- ・健康麻雀後の時間の使い方が素晴らしく、そこでの会話の重要性に気づけている
- ・男性の興味関心のある健康麻雀をコンテンツとして社会参加を促すとともに、初心者の指導的役割を担うという、役割のある社会参加の場を創出していることがポイント
- ・当初に喫茶店の空き時間に着眼された点や健康麻雀の主旨に沿って安定的に運営している点が素晴らしい
- ・参加者の子どもや孫など多くの世代の方に参加していただき、家庭での話題になっていけるといいですね

# 中央ファーム（蒲郡市） 2021年8月～活動開始

## 活動概要

有志が月1～5回、地域の小学校において、**農作業を通じた小学校と地域の仲間づくり**に取り組んでいる

## 取組テーマ「担い手不足の解消に資する取組」

- ▶ **地域学校協働活動推進委員と連携して小学校児童との交流機会を作り、地域交流を通じて地域を支える担い手を増やしている**
- ▶ **作物や作業の年間スケジュールの作成、畑のほか女性も参加しやすい花壇の作業を設ける、収穫物をお土産として持ち帰れるなど参加継続しやすい工夫をしている**

### 【ここにも注目！】

- ・活動通信（中央ファームだより）を作成して、学校や地域関係機関等に配布して活動を周知することで、新規活動者を募ることで寄付や助成を受けて活動資金をつくる工夫をしています
- ・グループホーム入居者の参加受け入れ、収穫物を炊き出しのように多人数で調理するなど災害時を意識して地域をつなぐ取組も行っています



中央ファームの活動風景



### 審査委員コメント

- ・男性参加が少ない通いの場が多い中、**男性が活躍できるような役割を自然に生み出し参加につなげている**
- ・**地域学校協働活動推進委員と連携して学校敷地内の畑や花壇づくりに工夫を凝らし、シニア（男性参画）と児童（体感教育）双方の課題解決につながっている**
- ・**子どもの教育や災害対策に目を向けての活動が地域全体の安心な街づくりに大きく貢献していると感じた**
- ・今後、**本活動のような「役割のある参加の場（就労的活動）」は、通いの場の中核となるべきであり、本会が他の取組を先導する取組となるよう期待したい**

# 西白土ふれあいカフェ＋（東郷町） 2021年4月～活動開始

## 活動概要

有志が月1回、ふれあいセンターにおいて、茶話会・軽トラ市・ボッチャの実施、親子で参加できる場の提供など住民ニーズに対応した様々な取組を行っている

## 取組テーマ「継続的に参加しやすい取組」

- ▶ 農家と協力して軽トラ市の同時開催（買い物支援）や親子への絵本読み聞かせ、アロマハンドマッサージなど、世代を超えて楽しめる催しを実施している
- ▶ 参加者の声から知りたいことが学べる機会を提供している（包括から介護保険についての講演、生協と協力して野菜摂取量チェックなど）

### 【ここにも注目！】

- ・ 運営者、社協、包括で話し合いの場を月に1回設けて、カフェの声や地域住民が自らやりたいことなど地域ニーズを共有できる機会としており、時には企業などにも協力を依頼し地域へとつなげています
- ・ 町、社協、包括の専門職も原則毎回カフェに参加して運営支援や参加者の相談等を受けるなど常に連携しています
- ・ 参加者への声かけといった見守り、歩いて参加することが難しい方への送迎も住民同士で行っています



軽トラ市の風景



親子で参加できる場  
(すくすくコーナー)

- ・ 軽トラ市など、生活支援をさまざまな形で支え合いながら取り組まれているところは素晴らしい
- ・ 地域課題を解決しようと町、社協、住民が協働して取り組んでいる好事例、立ち上げ当初にアンケートで住民ニーズを把握して活動を組み立てているのも、多機関が協働しているからこそそのプロセスである
- ・ サロンが多世代交流の場となり、買い物支援を含めた多様な取組になっていることは高く評価できる
- ・ 自治会活動からの派生的活動であり、自治会全体の問題意識を持たれる土壌があり素晴らしい地域である
- ・ 新たな試みも体験出来る情報発信ハブ機能として益々の進展を期待しています



審査委員コメント

# 100円カフェ「青山」(豊山町) 2024年7月～活動開始

## 活動概要

有志が月2回、公民館において、**コーヒーとおつまみを提供し交流の場を設けている**

## 取組テーマ「高齢者の生活課題(孤立・孤独)の解決に向けた取組」

- ▶ **気楽に安価で集える100円カフェで、参加を促し、参加者の見守りを行っている**
- ▶ **着物や帯、アレンジフラワーなどの飾り付けやBGMを流すことで喫茶店に来ているような雰囲気作りをしている**
- ▶ **準備・片付けはその場で参加者にも協力を募り、役割のある通いの場になっている**



100円カフェ「青山」の活動風景

### 【ここにも注目!】

- ・ **男性スタッフを常駐するようにして、男性が入りやすく、楽しめるように工夫をしています**
- ・ **元保育士スタッフに育児の相談もできるなど子育て親と子の憩いの場と高齢者の世代間交流の場になっています**
- ・ **外出機会の少ない人には介護予防体操教室の紹介を行い、取りまとめて申し込むなど他の運動教室の参加にもつなげています**



### 審査委員コメント

- ・ **参加者の役割に対する考え方が柔軟であり素晴らしい**
- ・ **気軽に参加しようと思える「100円カフェ」というアイデアで、課題解決を図ろうとした点が素晴らしい**
- ・ **男性にも楽しめるよう男性スタッフの常駐という安心感を与えつつ、雰囲気作りに気を配るなども参考になります**
- ・ **雰囲気作りとコーヒー提供で主催者や担い手が無理せず取り組める活動として参考にしやすい取組である**
- ・ **喫茶店が少なくなる中、誰もが参加できる100円カフェで繋がる人の輪の仕組みがあってもいいと感じた**

# 理想的な通いの場

- ・参加しやすく、継続的に通い続けられる介護予防・健康づくりの場
- ・高齢者に限らず障がい者や子どもなどを含めた地域の多様な主体がつながり、支え合う場



<通いの場の概念図>

厚生労働省発行「通いの場の課題解決に向けたマニュアル」より引用